

(別紙4(2))

事業所名: グループホームおおいし

目標達成計画

作成日: 令和 2年 10月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策(消防計画書内には、役割分担の記載を実施しているが、常に各役割分担した勤務体制がとれる訳ではない)	日勤帯に業務するものは、どの役割分担も出来るようになる。	・業務日誌に、毎日役割分担を記載する。 ・早出→通報班 通常→消火班 避難誘導班→遅出とする。また日勤帯のパートは避難誘導班とする。夜勤者は現状通り(通報・消火・避難)行う。	1ヶ月
2	54	居心地よく過ごせる居室の配慮(リハビリパンツ・オムツ・尿取りパットが、無造作にタンスの上に置いている)	リハビリパンツ・オムツ・尿取りパット等備品が目につく。プライバシーポリシーに配慮する。	・クローゼット内に保管できる方はクローゼット内で保管するようにする。ただし、クローゼット内で保管出来ない方(荷物が多くて)はリハビリパンツ・オムツ・尿取りパットが収納出来る大きな箱を作り保管する(箱には色紙などを貼り備品入れとすぐにわからないような箱を作成する)	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。